

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成  
 ～長久手市行政評価・外部評価～②（平成30年7月30日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価② <b>「在宅医療・介護連携事業の推進」【長寿課】</b>
開催日時	平成30年7月30日（月） 午前10時50分から午前11時50分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 山本理絵、樋口和則、島田智子 ・外部評価委員 服部麻衣子、山田佳奈 <担当課> 福祉部次長 中野智夫、長寿課長 出口史朗、同課課長補佐 井上隆雄 <事務局> 総務部長 青山 均、行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉剛、同課主任 加藤優作
傍聴者人数	2人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子連絡帳はよい仕組みだと思うが、なかなか利用が増えず、使いにくいと思うので、改善すること。使いやすくするのか、別の方法に乗り換えるのか、判断する必要がある。</li> <li>・電子連絡帳の普及について、カギとなるのは、医師だと思う。医師が使う上でのメリットがないとなかなか普及しないと思う。医師の参加する意欲をあげる仕組みとして、レスポンス機能等を考えてもよい。</li> <li>・電子連絡帳について、利用している本人（患者）又は親族側が使える部分を作ることも考えてほしい。</li> <li>・現在、登録している専門職が有効に機能し、結果、市民が利用しやすくすることが重要である。</li> <li>・うまくいっている（活発（有効）に機能している）事例研究をし、学び、刺激を受けることは重要である。積極的に実施してほしい。</li> </ul>
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>・専門職の横並びは、機能しないと思う。誰か特定の職種がイニシアチブ（核）をとる方法がよいと思う。</li><li>・専門部会は人数も多く、開催数も多いなど、顔が見えるつながりができており、よい取組である。</li><li>・長期目標では、「広い範囲・世代に対応できる仕組みをつくる。」と記載されており、範囲を広げていけるようにしてほしい。</li></ul>
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・電子連絡帳について、ニーズ、メリット、改良点等を聞き取りながらマイナーチェンジするかなど今後の検討が必要である。</li><li>・人的な連携の面では、専門部会が活発に行われており、そこから有効な事例もでてきており、今後に期待できると感じた。</li></ul>
--------	--